

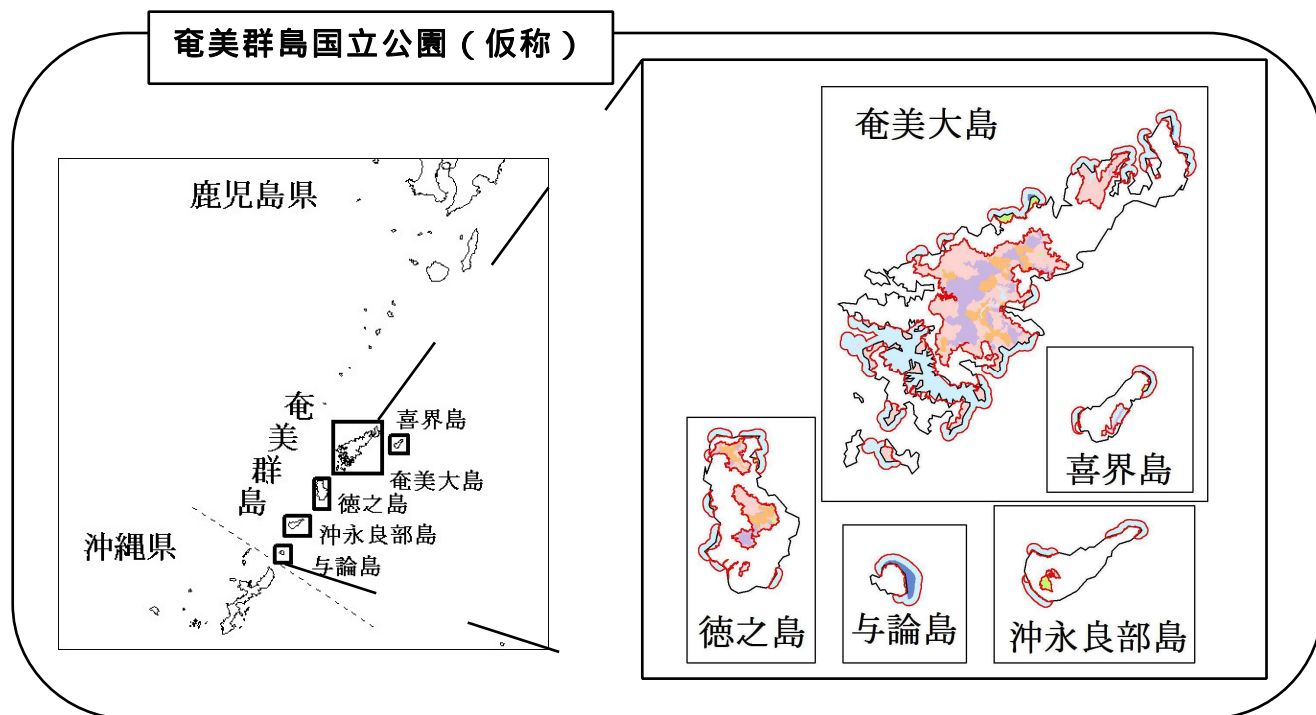
# 奄美群島国立公園(仮称)の指定及び公園計画決定案の概要

## 1. 背景

奄美群島は、特徴の異なる8つの島々で構成されており、世界的にも数少なく国内では最大規模の亜熱帯照葉樹林、アマミノクロウサギなどの固有又は希少な動植物、琉球石灰岩の海食崖や世界的北限に位置するサンゴ礁、マングローブや干潟など多様な自然環境を有しています。

平成22年度に実施された国立公園総点検事業においては、当該地域のこれらの自然環境が我が国を代表する傑出された地域であると高く評価され、新規に国立公園の指定を行う候補地として選定されました。

このような評価を受け、奄美群島について、自然環境に関する情報をさらに収集・分析した結果、我が国を代表する傑出した景観を有する地域として、新たに奄美群島国立公園(仮称)を指定することとしました。また、当該指定に併せて、既に指定されている奄美群島国立公園の一部地域を本国立公園に編入し、国立公園の指定を解除することとします。



## 2. 指定理由・公園計画の基本方針等

- 奄美群島は、次の風景形式の中で、我が国を代表する傑出した自然の風景を有する地域であるため、国立公園に指定するものです。また、景観要素と本国立公園の特徴を簡潔に表したテーマは次のとおりです。

風景形式 : 多くの固有種が集中して分布する国内最大規模の亜熱帯照葉樹林の生態系、自然性の高い河川景観、干潟・マングローブ生態系、サンゴ礁生態系といった多様な生態系が複合的に一体となった景観

主な景観要素 : 亜熱帯照葉樹林、砂浜、干潟、海食崖、リアス海岸、海鳥やウミガメの繁殖地、サンゴ礁、隆起段丘、鍾乳洞やカルスト地形、人と自然の関わりを示す文化景観

テーマ : 「<sup>いのち</sup>生命にぎわう亜熱帯のシマ ~ <sup>しまっぢゅ</sup>森と海と島人の暮らし~

- 公園計画については、自然環境と景観の多様性及びそこで体験できる自然体験の質を維持向上できるよう、また、利用者が自然環境の多様性・固有性や、伝統的な人と自然との関わりを感じることができるよう、適正な保護規制計画、保護施設計画及び利用施設計画を設定します。

### 3. 公園区域

- スタジイ等を主とする奄美大島及び徳之島の亜熱帯照葉樹林、砂浜、干潟、海食崖、リアス海岸等多様な自然景観を有する奄美群島の海岸、サンゴ礁や魚類等の生息地となっている海域、隆起段丘、鍾乳洞やカルスト地形などの自然景観や人と自然との関わりを示す文化景観や集落景観を公園区域とします。

### 4. 保護規制計画

- 陸域については、アマミノクロウサギをはじめとする固有又は希少な動植物の生息地・生育地である亜熱帯照葉樹林、特異な景観を有するマングローブを重点的に保護します。また、海域については、良好なサンゴの生息区域や与論島の沖合 1 km に及ぶ広大な礁湖の景観を海域公園地区とし、海域景観を保護します。

### 5. 保護施設計画

#### 自然再生施設

- 若齢照葉樹林等について、高齢照葉樹林への再生・誘導を図ります。
- 与論島における礁池内について衰退したサンゴ群集等の再生を図ります。

### 6. 利用施設計画

- 利用者が奄美群島の地形や生物等の自然環境の多様性・固有性や、伝統的な人と自然との関わりを感じることができるよう次の利用施設を計画します。

#### (1) 集団施設計画

- 奄美市住用町に「住用集団施設地区」を計画し、住用川及び役勝川の河口に発達するマングローブや亜熱帯照葉樹林等における自然探勝をはじめとする適正利用を推進します。

#### (2) 単独施設

- 各市町村において、以下の通り計画する。
  - 奄美市：園地（6箇所）、宿舎（1箇所）、野営場（1箇所）、水泳場（1箇所）、博物展示施設（1箇所）
  - 大島郡大和村：園地（2箇所）、野営場（1箇所）
  - 大島郡宇検村：園地（1箇所）
  - 大島郡瀬戸内町：園地（5箇所）、宿舎（1箇所）、水泳場（1箇所）
  - 大島郡龍郷町：園地（1箇所）、博物展示施設（1箇所）
  - 大島郡喜界町：園地（4箇所）
  - 大島郡徳之島町：園地（2箇所）、野営場（1箇所）
  - 大島郡天城町：園地（2箇所）
  - 大島郡伊仙町：園地（4箇所）、野営場（1箇所）
  - 大島郡和泊町：園地（1箇所）
  - 大島郡知名町：園地（3箇所）、野営場（1箇所）

大島郡与論町：園地（1箇所）野営場（1箇所）

合計：園地（32箇所）野営場（6箇所）水泳場（2箇所）宿舎（2箇所）博物館  
展示施設（2箇所）

### （3）道路

#### （ア）車道

奄美市、大島郡瀬戸内町、同郡大和村、同郡宇検村及び同郡龍郷町（奄美大島）において、車道（10路線）を、同郡喜界町（喜界島）において、車道（1路線）を計画します。

#### （イ）歩道

奄美市、大島郡宇検村及び同郡大和村（奄美大島）において、歩道（3路線）を、同郡喜界町（喜界島）において、歩道（1路線）を、同郡徳之島町及び同郡天城町（徳之島）において、歩道（2路線）を計画します。

#### （参考：公園面積）

陸 域		海 域	
特別保護地区	5,229 ha	海域公園地区	1,125 ha
第一種特別地域	9,133 ha		
第二種特別地域	25,218 ha		
第三種特別地域	1,321 ha	普通地域	31,974 ha
普通地域	1,393 ha		
陸域合計	42,294 ha	海域合計	33,099 ha

(別紙)

(参考) 奄美群島国立公園(仮称)の核心部と林業との関係

奄美大島には、国内最大級の亜熱帯照葉樹林が広がり、アマミノクロウサギをはじめとする固有・希少な生き物が生息・生育するなど、豊かな自然が広がっています。

一般的に国立公園の核心部は、国有地や公有地であることが多いですが、本地域の核心部は民有地が大部分を占めていることが特徴です。本地域では、森林の大部分を所有する岩崎産業株式会社や地域の方々が、生態系に配慮しながら、自然の回復力を活かした持続可能な林業を行い、適正に森林を管理されてきたからこそ、今日まで豊かな生態系が維持され、日本を代表する自然の風景地としての価値があると評価されました。